

施策評価表

平成28年度分

① 施策コード	8・1・1	評価担当課	子育て定住推進課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	定住につながる魅力的な住環境の整備			○		
③ 目標	若者定住対策による活気あるまちづくりに満足している町民の割合 丸森町は住みよいまちと感じている町民の割合					
④ 現状と課題	<p>◆ 本町の急速な少子高齢化の要因の一つとして、若年層が安定的な雇用や快適な住居を求めて都市へ流出していることがあげられます。これまでも新婚・子育て世代など若者の町内定住を促進するため、定住施策の充実に努めてきましたが、更なるニーズに応じた「若者定住対策」を推進する必要があります。</p> <p>◆ 多くの人が「住んでみたい」「住み続けたい」と思える、快適で魅力的な住環境の整備が求められています。</p> <p>◆ 町営住宅を284戸（平成26年12月現在）運営管理していますが、老朽化の進んだ住宅については、修繕や建替えによる計画的な維持管理が必要となります。</p>	施策の内容	新婚・子育て世代に対して、若者定住促進住宅や定住促進団地の提供、新築やリフォーム住宅取得、賃貸住宅家賃支援を行うとともに、民間業者へのアパート経営事業や宅地開発事業への支援による若者定住施策を推進します。 また、移住を希望する方に対して、地域が主体となった受入体制を促進することで幅広い世代の定住促進を図ります。 地域の資源を活かした魅力的な住環境の整備と宅地造成事業による定住施策を推進します。			

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)				
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
新たに定住した人数	人	21	26	43			
定住促進住宅整備戸数	戸	44	56	62	66	66	60
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI			目標値(上段)・実績値(下段)				
移住相談件数	件		55	57			10
移住相談実施回数	回/年			4	4	4	4
希望者に提供できる空き家の数【合計】	戸						20

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	157,185	123,143	154,970	76,400	108,400

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	空き家のデータベースを整備したことで移住希望者への紹介等、利活用の中を広げることができた。また、補助金要綱整備や若者定住促進住宅の建設、移住・定住サポートセンターの役場内設立により移住定住の一定効果を得ることができた。
⑨ 施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要

今後の取組

⑩ 今後の取組	空き家の新規開拓を常時行い物件数の確保に努めるとともに、補助金については、町内建築関係業者の利用率を向上し、町内での資金循環がなされるように、町内建築業者等への啓発や要綱の見直しについて検討を行う。また、若者定住促進住宅の経年劣化に伴い、一般の町営住宅立替計画との調整が必要となる。宅地造成については、計画策定や実施に向けて課内検討、関係課との調整を進める。
---------	---

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	拡充	【説明欄】 移住定住推進に向け、物件情報調査・収集、情報発信の強化・改善、首都圏での移住関連活動等を継続して行い、同時に宅地造成や住環境の整備について検討を進める。
委員会評価	拡充	【委員会意見欄】 引き続き、移住定住推進に向け、物件情報調査・収集、情報発信の強化・改善、首都圏での移住関連活動等を継続して行い、同時に宅地造成や住環境の整備について検討を進めること。 また、移住を希望する方に対して、相談しやすい環境を整備すること。